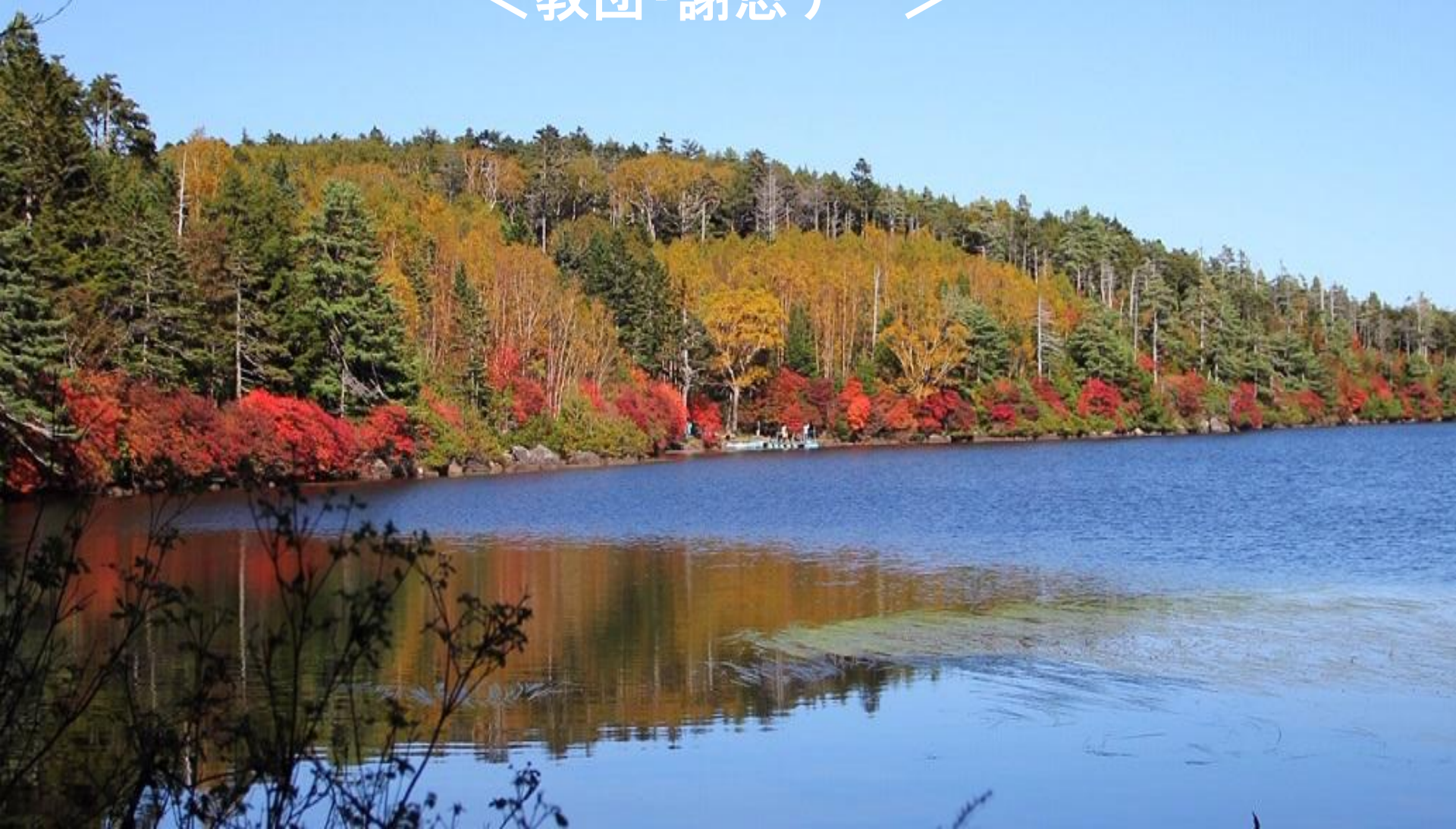


2025年11月16日
11月第三主日礼拝式
＜教団・謝恩デー＞



「忘れないで」

1. 忘れないで いつもイエス様は
きみのことを みつめている
だからいつも 絶やさないで
胸の中の ほほえみを
2. だけどいつか 激しい嵐が
きみのほほえみ 吹き消すでしょ
だからいつも 離さないで
胸の中の みことばを

【次】

「忘れないで」

3. 忘れないで 悲しみの夜は
希望の朝に かわることを
だからすぐに とりもどして
いつものきみの ほほえみを

「わたしたちのこの口は」

わたしたちのこの口は 汚れているけど
どうか主がこれをきよめて
賛美を授^(さず)けてください

偉大なあなたの御名が 天でも地でもあがめられ
主の栄光だけが 光り輝くように

あなたのその御名は いつまでもたたえられましょう
私も主を慕^(した)いながら
心ささげて たたえます

偉大なあなたの御名が 天でも地でもあがめられ
主の栄光だけが 光り輝くように

(主の栄光だけが 光り輝くように)

「誰でもキリストの内に」

(コリントⅡ 5:17)

だれでも キリストの内にあるなら

その人は 新しくつくられた者

古(ふる)きは 過ぎさり

すべてが新しい

主のうちにあるなら

すべてが新しい

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

103 大いなる方に

大いなる方に 感謝ささげます

御子キリストの 愛のゆえに

聖なる方に 感謝ささげます

御子キリストの 愛のゆえに

今 弱いものよ さけべ 勇士(ゆうし)だと

勝利(しょうり)の主が ともにおられる

今 貧(まず)しいものよ さけべ 富んでいると

恵みの主がともにおられる *

かんしゃします

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

180 栄光・尊厳・力

栄光、尊厳、力は
主のもの

栄光 誉(ほま)れ
賛美は主のもの